

一生することをいまからはじめよう

一生することは、サミットタイムを持つことです。ひとことで言うと「礼拝」です。
すでにともにおられる神様に集中する時間を持つことです。
集中する時間の内容は「みことばに集中すること」です。
かならず、一日5分10分でも、神様に集中する時間を持ちましょう。



1. みことばに集中

みことばをとおして「父なる神様」
すべての罪、のろいを解決された「御子なるキリスト」
いまも力をもって私の中で働く「聖霊なる神様」
この<三位一体の神様>に集中する時間が礼拝です。

なにかをささげるのではなく「神様が私に願われることに集中」するのです。

ヨシュア1:8 神様からわたしへの命令です

「この律法の書（=みことば）を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない」

詩1:1-2 幸いなのは「主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。」人です

黙示1:3 「この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。」

みことばは、神様です。神様はみことばをもって、いまも働いておられます。
イエス様は、みことばとして人となってこの世に来られました。



みことばに集中することを、ひとりタラッパンと言います。
きょうから、一生の間、毎日、大事に思って続けましょう。
1日24時間の中で、いちばん大事なときです。朝に起きたときにするのがよいでしょう。
朝に、みことば（メッセージ）をもって神様に集中する礼拝時間を持ちましょう。
家庭礼拝で聖書を読むのもよいでしょう。
親や教会学校の先生が、子どもたちと、毎日、いっしょに聖書を読んで祈るのもよいでしょう。

2. みことばによって自分をセッティングしよう

聖書66巻の中から、イエス・キリストの話（福音）を見つけましょう。

創世記1章 天地創造：私たちの信じる神様は創造主、全能者、唯一の神です。

創世記1:27 人間だけをご自分のかたち（神のかたち）としてつくられました。

創世記2:7 いのちの息を吹き込まれ、そこで人は生きものとなりました。

靈的存在としてつくられたのです。神様がともにおられる方法としてみことばを与えられました。

創世記2:16-17 神様とともにいる方法の契約です。

善悪を知る木の実をとって食べてはならない。とて食べたら必ず死ぬ。

ところが、人間は、その契約に不従順になって、とて食べてしまい、死にました。

そこで

創世記3:15 女の子孫、キリストが来られ、すべての問題を解決するという契約をくださいました。これが福音です。

このことを通して、自分をセッティングしましょう。

イエスはキリスト

私は神の子ども

私にあるすべての問題は終わった

福音のみことばで自分をセッティングすることが恵みです。



これがわかることが、神の子どもになったことです。

ローマ 5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに對するご自身の愛を明らかにしておられます。

私たちを愛しておられる証拠は、十字架です。一方的に神様が愛してくださったのです。

私たちは、一方的にその愛を恵みとして受けます。

そして、その愛を神様に返すのではなく、「隣人を愛しなさい」と言われているように
まだ、罪の中で生きている人に伝えるのです。これが伝道と宣教です。

神様に恵まれた人は、自然にできることです。

神様の恵みに満たされる人から、その恵みが現れるのです。



神様がともにおられるからです。神様が私の中におられます。

これが分かるレムナントは、自分が毎日すること、いる所、学校、家庭、地域、国に、神様の御座の
答えが与えられます。それをもらった人を通して237世界福音化の契約を成し遂げてくださいます。
これを信じて祈りましょう。

これが、みことばと祈りでセッティングすることです。



そうすれば、タラントが見えるようになります。

みことばに集中して、契約を確認して、ビジョンの世界福音化を見ているなら、
していることがタラントにつながります。

それが「空前絶後」(今までなく、これからもない) 答えがきます。

これが私です。いまの時代に、私ひとりしかいません。

礼拝を通してサミットとして、あらかじめ味わう答えを受けましょう。

そうして、24時ともにおられる神様を味わっているなら、神の国、神様の時刻表がついてきます。
神様が隠しておられることを見つけ、永遠の答えを見るようになります。

11月に、礼拝、みことば默想を大事にして、一生することをはじめましょう。